

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
大槌町地域	大槌町	H28.4.1～R3.3.31	平成 30 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成26年度)	目標 (割合※1) (令和3年度) A	実績 (割合※1) (令和3年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	1,112 t	1,203 t (8.2%)	954 t (-20.7%)	-20.7%
	1 事業所当たりの排出量	0.6 t	0.6 t (0.0%)	0.5 t (-17.7%)	-16.7%
	生活系 総排出量	3,191 t	3,036 t (-4.9%)	2,820 t (-7.1%)	-7.1%
	1 人当たりの排出量	186.8 kg/人	183.1 kg/人 (-2.0%)	187.2 kg/人 (0.2%)	2.2%
合 計 事業系生活系総排出量合計	4,303 t	4,239 t (-1.5%)	3,793 t (-11.8%)	-10.5%	
再生利用量	直接資源化量	448 t (10.4%)	432 t (10.2%)	394 t (-12.1%)	-8.8%
	総資源化量	1,373 t (31.9%)	1,382 t (32.6%)	1,213 t (-13.9%)	-12.2%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	— MWh	— MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	289 t (6.7%)	200 t (4.7%)	138.5 t (-52.1%)	-30.8%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績/目 標※3
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	住民、事業者、行政の役割分担	大槌町	適正処理の役割を明確化	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	12	普及・啓発事業	大槌町	パートナーシップの助成 住民・事業者への意識啓発及び情報提供 買物袋・買物かご持参運動 環境教育・環境学習の推進	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	13	ごみ処理の有料化	大槌町	家庭系ごみの有料化の検討 事業系ごみの適正価格の検討	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	14	家庭系ごみの減量化・資源化	大槌町	分別の徹底 集団回収の推進 資源回収業者の確保 再資源化収集品目の拡大	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	15	事業系ごみの減量化・資源化	大槌町	排出責任の徹底 事業系ごみの適正処理の推進 公共施設における減量化の推進	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
処理体制の構築、変更に関するもの	21	家庭系ごみ	大槌町	ごみ処理量の削減及び資源化 分別区分及び処理体制の検討	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	22	事業系ごみ	大槌町	適正なごみの排出と分別収集の指導	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	23	最終処分	大槌町	拡張整備などの検討	H28～H37 (H28～H32)	最終処分のあり方についてさらなる検討を進める
処理施設の整備に関するもの	1	資源化圧縮施設	大槌町	マテリアルリサイクル推進施設整備	H28～H30 (H28～H30)	新リサイクルセンター設置
	2	ストックヤード	大槌町	マテリアルリサイクル推進施設整備	H30～R2 (H28～H30)	解体工事実施後、ストックヤード建設
施設整備に係る計画支援に	31	資源化圧縮施設整備に係る生活環境影響調査事業	大槌町	生活環境影響調査	H28 (H28)	生活環境影響評価実施済

関するもの	31	資源化圧縮施設整備事業に係る発注仕様書等作成事業	大槌町	発注仕様書の作成	H28 (H28)	仕様書作成済
	32	ストックヤード整備事業に係る既存施設解体のための調査等	大槌町	解体に係る調査 発注仕様書の作成 等	H29 (H29)	解体に係る調査等実施済
	32	ストックヤード整備事業に係る発注仕様書作成業務	大槌町	発注仕様書の作成	H30 (H30)	発注仕様書作成済
その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発関連団体や小売店などの普及啓発	大槌町	関連団体や小売店などの普及啓発	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	42	不法投棄対策	大槌町	自治会、事業者と連携による監視体制の強化 土地所有者への対策の徹底を周知	H28～ (H28～H32)	継続的に実施中
	43	災害時の廃棄物処理に関する事項	大槌町	災害廃棄物について、円滑かつ適正に処理できる体制を整備 「災害廃棄物処理計画」の策定	H28～ (H28～H32)	防災計画と整合性を伴い、次回計画改訂時に作成を行う。

3 目標の達成状況に関する評価

令和2年度に現リサイクルセンター施設が完成し、施設の機能向上を行った。

昭和63年度から取り組んでいる資源化を、今後も継続するとともに、可燃ごみの減少を促進しながら、より一層の資源化（リユース、リデュース、リサイクル）への普及啓発を実施するように努めていく。

災害時の廃棄物処理については、防災計画等との整合性を図りつつ、一般廃棄物（ゴミ）処理基本計画改訂時に合わせて実施し、災害時の廃棄物処理計画を策定するように進める。

（都道府県知事の所見）

生活系ごみについて、一人当たりの排出量が平成26年度時点より増加しているものの、生活系ごみ及び事業系ごみの総排出量は減少していることから、今後の推移を注視しつつ、引き続き発生抑制施策等の対策に取り組んでいただきたい。

なお、ごみの排出量削減に向けた施策の中で、家庭系ごみの有料化や災害時の廃棄物処理計画の策定についても検討を進めていただきたい。

県においても、引き続きごみの排出量削減に向けて、必要に応じて助言する等して支援していくこととしたい。